様式１

(表　面)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 社 会 福 祉 法 人 定 款 変 更 認 可 申 請 書 | | | | |
| 申　請　者 | 主たる事務所の所在地 |  | | |
| ふ り が な  名　称 |  | | |
| 理事長の氏名 | 印 | | |
| 申 請 年 月 日 | |  | | |
| 定　款　変　更　の　内　容　及　び　理　由 | 内　　容 | | | 理　由 |
| 変更前の条文 | | 変更後の条文 |
|  | |  |  |

(裏　面)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 定　款　変　更　の　内　容　及　び　理　由 | 内　　容 | | 理　由 |
| 変更前の条文 | 変更後の条文 |
|  |  |  |

（注意）

①　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４番とすること。

②　記載事項が多いため、この様式によることができないときは、適宜用紙（大きさは、日本工業規格Ａ列4番とする。）の枚数を増加し、この様式に準じた申請書を作成すること。

　　また、変更前の条文と変更後の条文を対比表とすることが困難な場合には、対比表の形式によらないことも差し支えないこと。

③　この申請書には、社会福祉法施行規則第３条第１項各号に掲げる書類を添付するとともに、当該定款変更の内容に応じ、同条第２項又は第３項に規定する書類を添付すること。

④　記名押印に代えて署名することができる。

様式１

左右を対照・並列にして記載

**記入例**

捨印

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 社 会 福 祉 法 人 定 款 変 更 認 可 申 請 書 | | | | |
| 申　請　者 | 主たる事務所の所在地 | 南丹市○○町○○番 | | |
| ふ り が な  名　称 | しゃかいふくしほうじん　まるまるふくしかい  社会福祉法人　○○福祉会 | | |
| 理事長の氏名 | 南丹　太郎　　　　　　　　　　　　　　　　　印 | | |
| 申 請 年 月 日 | | 平成○○年○○月○○日 | | |
| 定　款　変　更　の　内　容　及　び　理　由 | 内　　容 | | | 理　由 |
| 変更前の条文 | | 変更後の条文 |
| （目的）  第一条  （１）第一種社会福祉事業  （イ）特別養護老人ホーム○○園の設置経営  （ロ）特別養護老人ホーム△△苑の設置経営  （ハ）知的障害者援護施設（入所更生）の設置経営  （２）第二種社会福祉事業  （イ）老人デイサービス事業（○○園）  （ロ）老人居宅介護等事業（○○園）  （ハ）障害福祉サービス事業（居宅介護・重度訪問介護　○○事業所）  （ニ）障害福祉サービス事業（短期入所　△△園）  （経営の原則）  第三条　この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図るものとする。 | | （目的）  第一条  （１）第一種社会福祉事業  （イ）特別養護老人ホームの経営  （ロ）障害者支援施設の経営  （２）第二種社会福祉事業  （イ）老人デイサービス事業の経営  　（削除）  　（ロ）保育所の経営  （ハ）障害福祉サービス事業の経営  （経営の原則）  第三条　この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。 | 定款例を参考とした事業表記の変更（事業種類ごとに統一）  ・（イ）と（ロ）を事業種類で統一  障害者自立支援法に移行による事業変更  ・事業種類の廃止  ・事業種類の追加  ・（ハ）と（ニ）を事業種類で統一  定款例を参考とした条文の変更 |